

令和7年度 在宅医療・介護連携に関する相談内容と対応

相談者	相談種別	相談内容	対応
社会福祉士	医療・介護連携	「認知症の疑いがあり症状が悪化している方。現在生活は自立しているが、今後のことを考えると介護保険サービスを利用したほうがいいと思い、担当ケアマネジャーに介護保険サービスの利用を提案したが必要ないと言われた。受診につなげたい意向を説明しても頑なに受け入れてもらえない。」と訪問看護師から相談を受けた。どう対応すればいいか。	以下2点をお伝えした。 ・担当ケアマネジャーの意向を確認し、受診や訪問看護等のサービス利用を受け入れてもらえない理由を聞いてみてはどうか。 ・医療的介入の必要性を検討するため、初期集中支援チームの介入について担当ケアマネジャーに相談してはどうか。
市民	在宅医療・在宅療養	家族が入院中で、主治医から療養の方向性を決めるように言われた。本人が自宅に帰ることを希望している。在宅で最期を過ごすためにはどんな準備が必要か教えて欲しい。	家族の心配事、気になることなどを確認し、様々な在宅サービスがあることを伝えた。主治医に相談しづらければ、地域医療連携室の相談員に相談してみるよう提案した。また、ケアマネジャーが決定したらケアマネジャーに相談すること、可能であれば、家族間で本人の思いを共有できると良いことをお伝えした。
社会福祉士	医療・介護連携	「退院するにあたり、病院から市役所で介護保険を申請するよう言われた。市役所の窓口ではケアマネジャーをつけた方がいいと言われ居宅介護支援事業所の一覧を渡されたが、どこに決めたらいいのか、これからどうしたらいいのか分からない。入院中に制度やサービス等の詳しい説明はなく、市役所の窓口に行くように言われただけ。窓口でも詳しい説明がなかったため、これからどうしたらいいのか分からない。何を聞いたらいいのかも分からない状況だった。」と市民から相談を受けたので共有したい。	市民及び相談者の状況や問題点を確認した。他にも同様のケースを聞くことがあり、地域の医療・介護連携の課題として現状・課題を整理し対応策を検討していきたい旨をお伝えした。
高齢者相談室 社会福祉士	医療機関の情報提供	呉市内でレスパイト入院を受け入れている病院を教えてください。	呉市内でレスパイト入院を受け入れている医療機関をお伝えした。

令和7年度 在宅医療・介護連携に関する相談内容と対応

相談者	相談種別	相談内容	対応
病院 医療ソーシャルワーカー	地域資源の 情報提供	肝疾患の患者が入退院を繰り返している。入院中に栄養指導をしたり宅配弁当などの情報を提供しているが、宅配弁当は利用せず食べたいものを食べたり、脱水を起こして救急搬送されるなどを繰り返し主治医も困っている。退院後、地域で声かけや見守りなどのフォローができる仕組みやサービスがあるか。教えてほしい。	<p>以下3点を回答した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健センターの保健師や栄養士に、自宅訪問での保健指導・栄養指導を相談してはどうか。 ・広島県栄養士会に問い合わせた。全国に栄養ケア・ステーションがあり、薬局や管理栄養士が登録されている。無償で訪問指導はできないが、主治医の指示書があれば訪問指導することは可能であると思う。これまでに呉市で前例はないが、広島県栄養士会事務局に相談してもらえれば対応はできると思う。 ・入院中に本人の意向や思いを聞いて、これからのことについて話してみてもどうか。
市民	その他	医師の意見書があれば、訪問看護等でアートメイクをすることは可能なのか知りたい。	<p>関係機関・部署に問い合わせ、以下3点を回答した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートメイクは自由診療であり、一般に公的保険利用の訪問看護とは異なるため、指示書は不要ではないか。 ・訪問看護ステーションの設置基準を満たしていれば、訪問看護でアートメイクを行うのは可能である。 ・呉市の指導監査室へ相談してほしい。
市民	医療機関の 情報提供	入所中の母のことで相談。入所先から来てほしいと連絡を受けたが、仕事が忙しくなかなか行けなかった。次に連絡があった時には「看取りの状態だ」と言われ、面会に行くと衰弱していて病院へ入院となった。退院後は入所先に戻ったが、また同じことが起きないか心配で他の病院を紹介してもらったが満床で、入所先の相談員から「ご家族で病院や入所先を探してほしい」と言われた。介護も医療も必要な状態で、どこがいいのか分からない。	<p>母親の状態と相談者のニーズを確認し、対応してくれそうな病院、介護老人保健施設、介護医療院等の情報提供を行った。</p>

令和7年度 在宅医療・介護連携に関する相談内容と対応

相談者	相談種別	相談内容	対応
調剤薬局 管理者	その他	居宅療養管理指導の枠が4~5名空きがあるため、該当者がいたらご紹介いただきたい。	該当地域の高齢者相談室、包括的支援推進員に情報提供した。
病院地域医療 連携室看護師	医療機関の 情報提供	60歳代男性、食道癌で入退院を繰り返している。今回食道狭窄で経口摂取不良となり入院加療中。主治医より予後が週単位とICされていて本人と妻は在宅看取りを希望している。呉市で訪問診療している医療機関を教えてください。	<p>本人の状態や妻との面談の状況を確認し、訪問診療している医療機関の情報提供を行い、以下4点をお伝えした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅看取りの環境整備について、時間的猶予がないため在宅移行支援を早めに検討すること、早急に介護保険を申請すること、居宅介護支援事業所と訪問看護事業所との連携が必要になる。 ・訪問診療や訪問看護の導入については、経済的負担を考慮する必要がある。 ・本人と妻が現状をどこまで理解しているのかを把握したうえで、在宅看取りや急変時について説明する必要がある。 ・今後の具体的な退院調整については、居住地域の包括と連携するようお伝えし、包括的支援推進員へ繋いだ。
病院地域医療 連携室MSW	医療・介護 連携	80歳代女性、腰痛で救外受診するも入院拒否がありベルト固定し帰宅された。同日夜中に吐血し翌朝に救急搬送され、逆流性食道炎と腰椎圧迫骨折で入院加療した。現在退院調整中で本人が自宅退院を希望しているため包括に連絡したが、「過去に介入が難しい家族で居宅から断られた経緯がある。今回も居宅が受け入れてもらえない以上は難しい」との返答があり、退院調整に困っている。	居住地域の高齢者相談室管理者に当該者の状況を確認した。地域医療連携室の状況を説明し、居宅への受け入れ調整を依頼した。

令和7年度 在宅医療・介護連携に関する相談内容と対応

相談者	相談種別	相談内容	対応
在宅医療・介護連携支援センター	その他	他機関との情報共有について、HMネットを活用している呉市の状況を教えてほしい。	<p>介護保険課のHM-BOXの利用状況について、次のとおり回答した。（介護保険課と情報共有済）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・呉市と情報のやり取りをしているのは4ヶ所のみ。 ・要介護認定等情報提供申請書が提出されたら、2営業日以内に認定調査書と主治医意見書を送付している。 ・要介護認定のシステムが入ったPCより該当データをUSBに移し、HMネット用のPCにデータを移して送付している。 ・運用の詳細については、介護保険課の認定グループに問い合わせしてほしい。